

JAさんに教えてもらった

# 米袋バッグを作ってみよう



米袋バッグはこんなに便利!

通気性があり日光を通さないのので、ジャガイモなどを保管できます。家庭菜園のおすそわけの時などプレゼントにしても◎。

丈夫なので、大根など重いものを買っても安心。キャンプ道具などのかさばるものの保管にも。

JA石川県女性組織協議会ではお米や農業に親しみを感じてもらうため、米袋を使ったバッグを広めています。協同組合同士つながりで、コープいしかわの機関紙企画検討委員会の皆さんが米袋バッグ作りを教えてもらいました。

## 用意するもの

- 材料**
- ・米袋(30kg用)…1袋  
※JAの直売所やホームセンターで販売しています。使用済米袋は硬く絞った雑巾で拭いてから。
  - ・クラフトバンド(12本幅)…82cm×2本  
※手芸店や100円ショップで販売しています。
- 道具**
- ・穴あけパンチ(2穴パンチでも可)
  - ・はさみ・30cmの定規
  - ・鉛筆・木工ボンド



「教えてくれた人」



JA石川県女性組織協議会  
会長 廣澤 貴子さん 副会長 太田 千鶴さん

## 1 バッグの大きさを決めよう!



持ち手は肩掛けできる長さにする?

米袋のデザインを活かす?



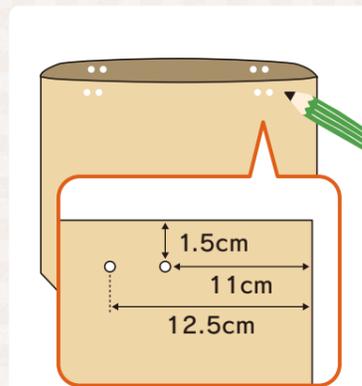
- 1 作りたいバッグの高さを決め、印を付ける(A)。
- 2 Aから上に3cm(B)と6cm(C)の所に印を付ける。
- 3 Cをはさみで切る。

## 2 持ち手を通す穴を開けよう!



**POINT** 米袋は3重の紙でできているので、定規で押さえて滑らせながら折るときれいになります。

- 4 Bで内側に折り、さらにAで内側に折る。



- 1 袋の端から、縦1.5cm、横11cm、12.5cmの所に印を付ける。
- 2 同様に4カ所に計8個の印を付ける。



**POINT**

パンチのカバーを外し、裏返して使うと印が見えます。2穴パンチでも可能。

- 3 印を付けた所が中心になるように、穴をあける。

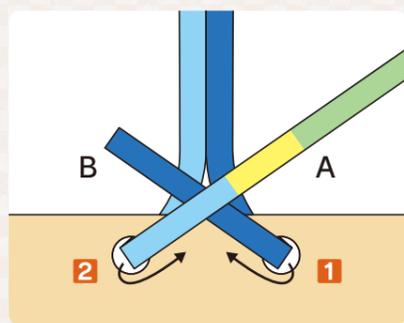
## 3 持ち手を作ろう!



**POINT**

PPバンドや不要になったプラスチックのカードなどを切り口に差し込んで割るようにするときれいに裂けます。

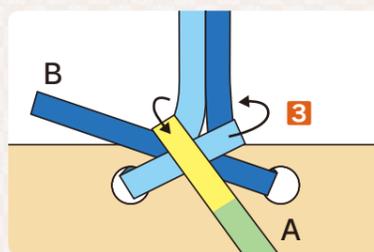
クラフトテープの両端14cmまでを均等に2本に裂く。



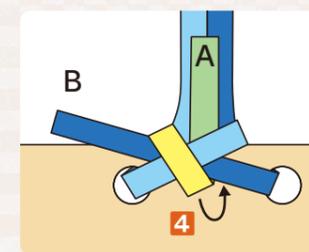
**POINT**

AとBを区別するためにマスキングテープなどで印を付けるとわかりやすい。

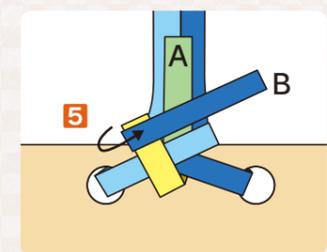
- 1 裂いたテープの1本を袋の内側から穴に通し、外側に出た分を折り曲げる。
- 2 もう1本も同様に内側から隣の穴に通し、折り曲げる。左の穴から出たテープ(A)を上にしてクロスする。



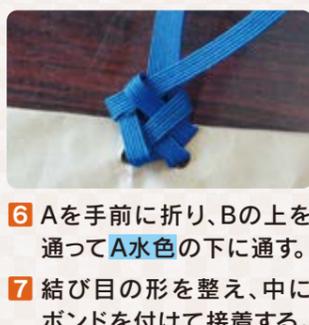
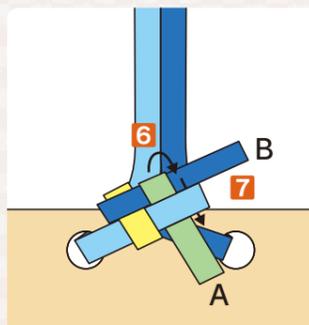
- 3 Aをテープの後ろに巻き付けるように折り、手前に持ってくる。



- 4 AをBの下に通し、上から出す。



- 5 BをA黄色に重ねるように折る。



- 6 Aを手前に折り、Bの上を通ってA水色の下に通す。
- 7 結び目の形を整え、中にボンドを付けて接着する。



- 8 AとBの端を、結び目から少し離れた所で切る。



- 9 残り3カ所も同様に結ぶ。



一つ完成するとまた作りたくなります。

**POINT** 手順を左右反転して結ぶと左右対称の結び目に!

**アレンジ**

- 10kgや20kgの米袋で作れば小さめのバッグができます。
- クラフトテープの長さを短くして手持ちバッグにするなどアレンジも。

米袋が丈夫なことは感じていたけど、バッグにして活用できるとは思い付きもせずエコで機能的でいいと思いました!

作った米袋バッグを早速持ち歩いてみたのですが「米袋を再利用して作ったんです」と言わないと気付かないほど普通にバッグでした。



完成!